

世界の食料安全保障に貢献する国際協力の推進（ODA）

【令和3年度予算概算決定額 2,599（2,686）百万円】

＜対策のポイント＞

国際機関と連携して、コロナ危機による食料供給の流れや需要の変化に対応するための取組を推進します。また、飢餓・貧困、栄養改善、気候変動等の地球規模課題への対応や、スマート農業の海外展開を含む途上国におけるフードバリューチェーン構築に取り組みます。

課題/背景

- ・ 世界には約7億人に及ぶ飢餓人口が存在する中で、気候変動のような地球規模課題等の食料供給の不安定化要因が増していくことが予想されるところ、新型コロナウイルス感染症の蔓延によりそのリスクは更に増大。
- ・ 途上国の農業生産性及び農村所得の向上のためには、農産物の生産・加工・流通・消費に至るフードバリューチェーンの構築が重要。
- ・ 更なる経済成長が見込まれるアジア・アフリカ地域との良好な関係を構築し、将来における我が国農林水産品・技術の市場を確保するとともに、国際ルール形成における日本の発言力強化に繋げていくことが必要。

コロナ危機による食料供給の流れや需要の変化への対応

- アジア・アフリカにおける**我が国食産業の海外展開支援**を実施するとともに、**強靱なフードバリューチェーン構築**に取り組みます。
- 種子供給の安定化、GAPによる衛生管理の徹底、家族農業の活性化に貢献します。
- 日本の伝統的な食文化等の健康価値を検討し、需要変化に対応します。
- 人獣共通感染症対策、東アジア地域における緊急米備蓄、合法木材の利用促進、持続的な漁業の達成に向けた取組に係る支援により**危機対応体制の充実**を図ります。

地球規模課題への対応

- アフリカの慢性的な栄養不良を改善するための**栄養強化新品種等の開発**、SDGs モニタリングの改善を推進します。
- アジアにおけるASFや口蹄疫等の**越境性動物疾病対策**及び**薬剤耐性菌対策**を推進します。
- 水資源の有効利用を促進するため、我が国が東南アジアで実施した**かんがい技術に係る取組の普及支援**を行います。
- **気候変動対策**として、**農地土壌における温室効果ガス排出削減・吸収技術等**に関する途上国の能力の向上、途上国の山地流域における**地域強靱化のための森林の保全・利活用方策の普及**に向けた取組等を推進します。
- **太平洋島嶼国等に対して水産分野における産業育成**につながる支援等を推進します。

海外におけるスマート農業の展開への対応

- 国際社会における**農業に関するデジタル技術の活用に関するルール形成**を推進します。
- 途上国における**農業基盤データ整備**や我が国の**スマート農業技術の展開**を図ります。

食産業の海外展開への対応

- アフリカ等で**日本企業コンソーシアムによる複数の製品等を連携したフードバリューチェーン構築の実証**を支援します。
- 水資源の有効利用に係る我が国技術の海外展開を促進するため、**官民連携による途上国での実証調査や技術交流**を実施するほか、**施設管理能力の強化、国際連携の推進**を行います。
- **優良品種の現地への導入**や**農業生産技術の指導・普及等**を実施・支援します。
- **現地の食産業の担い手育成、植物の新品種が国際水準で保護される環境の整備、食品規格等の国際基準調和等**を通じて**ビジネス環境を整備**します。